

京浜急行電鉄デハ230形 形式図

1930年から製造を開始したいわゆる京浜タイプという独特のスタイルで多くのファンに親しまれた電車
 屋根が浅く、窓の大きいのが第一の特徴で、さらに腰の低さ、台車位置など赤一色の塗装とあいまって大いに異彩を放った旧湘南デ1、旧京浜デ71、デ83、旧湘南デ26と4グループに分かれるが、形態的には大差なく、図はデ1の1958年当時の姿を基にし、平面にデ1製造当初のクロスシート付きを示す

